

A-4 病棟 ID No. \_\_\_\_\_ PT開始日 2016年5月18日 診断名 肺気腫  
 主治医 \_\_\_\_\_ PT再開日 \_\_\_\_\_  
 三木啓 先生 68歳9カ月 歳 男 検査日 2016年5月18日

初期 評価について報告いたします

安静時の状態 0 l/min

	SpO <sub>2</sub>	脈拍	RR	呼吸様式
仰臥位	94	82	18	3.胸=腹 整
座位	95	80	24	3.胸=腹 整
立位	95	86	24	3.胸=腹 整

関節可動域

右 左

頸部	前屈	60	45	
	後屈	50	45	
側屈	50	20	25	
	回旋	70	65	65
体幹	前屈	45	40	
	後屈	30	20	
	側屈	50	35	20
	回旋	50	45	30

ergo 0 l/min

0 l/min

	SpO <sub>2</sub>	脈拍	B-S	下肢疲労	時間・距離
開始	95	83	0	0	30 watt 6 min
終了	93	94	2	1	3 set インターバル時間 sec

2016.5.23より開始  
RR18→24回/分

呼吸補助筋の状態 (ノ6段階)

	臥位	座位	立位
胸鎖乳突筋	2	2	2
斜角筋	2	2	2
僧帽筋	0	1	2

6分間マイペース歩行 0 l/min 初期

0 l/min 初期

	SpO <sub>2</sub>	脈拍	B-S	下肢疲労	RR	時間・距離
開始	95	91	0	0	24	360 s 396 m
終了	95	97	3	2	26	中止理由
spo2最低値	94	歩行中	60 s			
回復	96 0s	94 40s	0 24G	BS/距離 -0.76	SpO <sub>2</sub> /距離 -0.51	平均ラップ 27.27 s/30m

胸郭拡張差 ((cm))

	安静時	最大時
腋窩	.5	1.5
剣状突起	1	1.5
第10肋骨	1	-1
臍	1	1.5

コメント

呼吸は主に、胸腹式 で行っています。

胸郭拡張差は、安静時および最大時 腋窩部 剣状突起部 第十肋骨部 において拡張が悪いです。

関節可動域は、下記の部分に制限が見られます。

頸部 前屈 後屈 右側屈 左側屈

体幹 後屈 右側屈 左側屈 右回旋 左回旋

肩関節 \_\_\_\_\_

BMI 21.61

呼吸補助筋の使用は、 \_\_\_\_\_ 著明ではありません。

CRQは、dyspnea \_\_\_\_\_/10, emotional function \_\_\_\_\_/10, fatigue \_\_\_\_\_/10, mastery \_\_\_\_\_/10, total \_\_\_\_\_/40

安静・労作時とも、浅くて速い呼吸。動作スピードが非常に速い。

→呼吸法指導、スピードコントロール、呼吸と動作との同調を実施。

回答 別紙のように処方内容を追加・変更します

従来通り実施してください

終了してください

コメント

担当 岩田裕美子

リハ科医長

上記報告書を確認しました

主治医確認

PT

## 運動負荷心肺機能検査結果

国立病院機構刀根山病院

O2(-) (21%)

ID/Test No  
 依頼科/Dr 三木啓  
 氏名  
 ふりがな  
 年齢 68.11 (歳)  
 生年月日 1947/8/17  
 性別  男  女

身長 168.5 (cm)  
 体重 61.6 (kg)  
 疾患1  CPE  old Tbc  IP  
 疾患2 リハ  
 疾患3

MVV 45.15 THR 151

【肺機能検査】 検査日 2016/5/17

VC	3.19 (l)	CV	
%VC	94.6 (%)	dN2	(%)
FVC	3.15 (l)	TLC	(l)
%FVC	93.4 (%)	RV/TLC	(%)
FEV1.0	1.29 (l)	DLCO	
%FEV1	46.1 (%)	%DLCO	(%)
FEV1.0%	41.0 (%)	DLCO/VA	
FEV1/VCp	38.3 (%)	Vtg	
IC	2.52	FRC	

【心肺機能検査】 検査日 2016/5/18 protocol m-Toneyama2 Watt リハ前後 リハ前

運動時間 9分17秒 中止理由 息切れ

	安静時	立位時	1分後	3分後	6分後	9分後	12分後	15分後	18分後	終了時	
Borg Scale	0/0	0	0/0	.5/.5	1/0.	1/2/2/2	3/5/7/7				9/8
RR	21	20	23.5	21	27.1	35.5					37.4 (/min)
TV	549	709	933	1086	1142	1296					1259 (ml)
VE	11.5	14.2	22	22.8	30.9	46.1					47.1 (l/min)
VO2	293	406	686	734	888	1213					1238 (ml/min)
VO2/W	4.8	6.6	11.1	11.9	14.4	19.7					20.1
VCO2	232	334	548	633	824	1251					1270 (ml/min)
R	0.79	0.82	0.80	0.86	0.93	1.03					1.03
VE/VO2	39	35	32	31	35	38					38
VE/VCO2	50	43	40	36	38	37					37
VD/VT	0.45	0.36	0.38	0.36	0.36	0.36					0.36
HR	83	88	103	108	116	138					142 (/min)
VO2/HR	3.5	4.6	6.7	6.8	7.7	8.8					8.7
METS	1.36	1.88	3.18	3.41	4.12	5.62					5.74
BP	131/61		126/63	146/66	174/63	180/65					180/65 (mmHg)

【血液ガス検査】

	安静時	立位時	1分後	3分後	6分後	9分後	12分後	15分後	18分後	終了時	
pH											
PaO2											(Torr)
PaCO2											(Torr)
HCO3											(mm/l)
BE											(mm/l)
SAT											(%)
SpO2	94	95	95	94	93	90					(%)
Lactate											(mmo/l)
NA											(ng/ml)
Ad											(ng/ml)

## 【コメント】

1. ECG所見 VPB  なし  SVPB  なし  その他  ST変化  I  II  III  aVR  aVL  aVF  I  Type  mm
2. peakVO2は予測値 (1738 ml/min) の 71.2 % であり、運動能は  を示唆する 心電図判定
3. 運動中の換気当量(VE/VO2)は  であり、換気効率は   
 VEmax/MVV= 104.3 % 換気パターンは  VEmax/VEpred 120.9 % (VEpred 39.0 l/min)
4. 最大運動時のPaO2は  Torr であり、低酸素血症 (PaO2<60 Torr) は  pred max VO2 1476 ml/min  
 PaO2 slope =  PaCO2 slope =  Torr/100mlVO2 (Jones)
5. 運動に伴いHRは 、O2pulse(VO2/HR)は  であり、心機能は  を示唆する  
 HRmax/THR= 94.0 %
6. AT (V-slope)=  ml/min AT (Lactate)=  ml/min NT=  ml/min
7. 運動制限因子は  11. その他

Sign.  前倉  平賀  北田  好村  橋本尚  三木啓  三木真  元根  立石  伏谷